

5党党首「連結」収支(試算)

今回、政治資金の全体像を示すため、学生団体が「連結化」を試みたが、一人の議員に関わる複数の政治団体の存在や、収支報告書の誤記載などにより、完全な分析は困難であった。

しかし、これまで他の機関が取り組んでこなかったこの連結作業を実際に行うことによって、制度的な問題が明らかになるとの認識のもと、実施することに意義があると考えます。

したがって、当該議員に関わる政治団体が他にもあったり、掲載している数字に若干の確認不備がある場合にはご容赦願いたい。

平成 19 年 10 月 17 日

構想日本、情報公開クリアリングハウス、東京財団、東京大学「政党ガバナンス研究会」

政治資金の全体像解明 調査概要

<調査メンバー>

「東京大学 政党ガバナンス研究会」(現役学生7名)

<調査目的>

1人の国会議員が提出している複数の収支報告書を「連結化」し、年間の収入と支出の全体像や、政治資金の流れをつかむ。

<調査の手順>

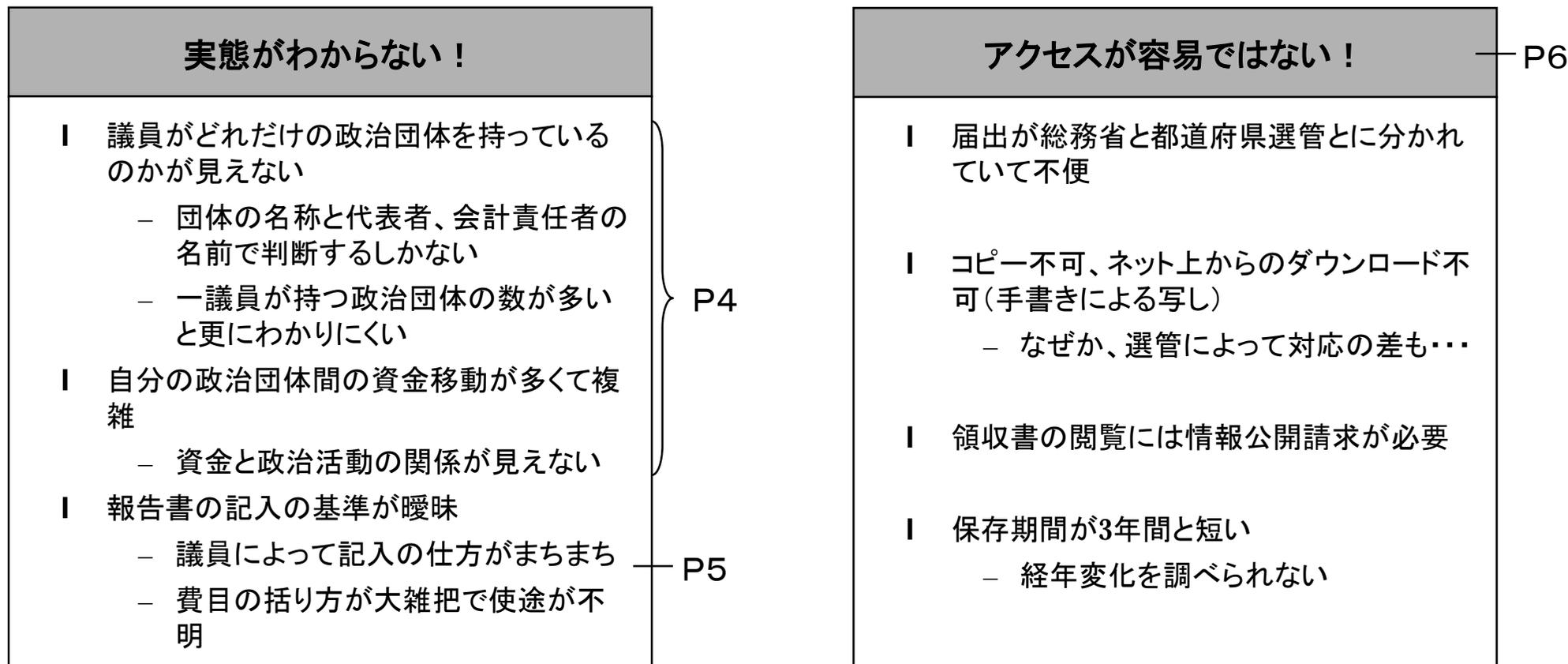
1. 政治団体の名称と収支報告書の登録場所(総務省or都道府県選管)の確認
 - 連結対象となる政治団体の名称については、NPO法人「情報公開クリアリングハウス」調べによる*
 - 総務省届出分は同省のホームページ**から把握。
2. 収支報告書(数字)の転記
 - 収支報告書のフォーマット(都道府県選管のホームページより印刷可能)を持参して、数字を書き写す(選管によってはパソコンの持込可)
3. 数字の足し合わせ(分析)
 - 収支の項目ごとに集計する(項目はすべての団体で共通)。

※政治団体間の資金移動は、連結収支に含めない

* 連結対象の政治団体の定義

①団体名に本人の名前が用いられている ②代表者、会計責任者が議員本人である ③議員が公表している住所に所在し、かつ代表者や会計責任者が①ないし②の代表者・会計責任者と同一、あるいは秘書が務めているなどの関連性がある。同様に、名称に名前そのものは含まれていないが、名前の一部などを用いていて関連性が認められる。

現場で感じた— 収支報告書をめぐる問題点



各党首の連結収支*

2005年度分 (千円)		各党首**				
		福田総裁 (自由民主党)	太田代表 (公明党)	小沢代表 (民主党)	福島党首 (社会民主党)	綿貫代表(参考) (国民新党)
収入	収入合計	134,000	194,000	233,000	56,000	326,000
	党費収入	467	0	541	2,780	7,490
	寄付	60,600	154,290	97,200	27,800	160,000
	（個人寄付）	(12,500)	(12,200)	(26,200)	(27,800)	(12,600)
	（法人/政治団体寄付）	(48,100)	(142,100)	(71,000)	(0)	(147,000)
	本部/支部からの交付金	23,000	24,000	16,600	22,300	8,000
	パーティー/セミナー/販売収入	50,000	12,500	114,000	3,090	0
	借入金	97	0	0	0	150,000
	その他(無償提供分、賃貸料、利息ほか)	0	3,180	4,720	0	600
支出	支出合計	131,000	106,000	791,000	55,000	443,000
	経常経費	73,400	64,200	480,000	26,700	89,700
	（人件費）	(44,300)	(29,600)	(36,100)	(17,700)	(62,900)
	（事務所費）			(432,000)	(5,520)	(20,700)
	政治活動費	57,200	41,800	311,000	28,400	354,000
	（組織活動費）	(16,300)	(15,400)	(9,100)	(4,560)	(33,000)
	（選挙関係費）	(21,300)	(0)	(4,800)	(2,770)	(0)
	（機関紙発行等事業費）	(9,080)	(19,300)	(27,500)	(9,150)	(1,110)
	（調査研究費）	(223)	(227)	(0)	(2,000)	(872)
	（寄付・交付金）	(4,300)	(3,650)	(30,000)	(9,900)	(258,000)
（その他—借入金返済、利子ほか）	(6,000)	(3,180)	(240,000)	(0)	(60,000)	
繰越	2005年度分の繰越金	356	87,900	▲558,000	914	▲117,000
	（翌年度繰越金総額）	(2,480)	(129,000)	(437,000)	(4,510)	(47,200)

* 「政党支部」、「資金管理団体」、「その他政治団体」3つの合計(政治家個人に支給される党本部や政党支部連合会からのお金の収支、選挙運動に関する収支報告書の収支は除く)。

** 国民新党の綿貫代表は、2005年度の途中まで自民党所属のためその分も含む。また、連結作業後、新たに18の関連政治団体が確認された。日本共産党は、すべての政治資金の出入りが党本部に一元化(連結する“財布”がない)。ちなみに、志位委員長は党本部に878万円寄付している。新党日本は、現在政党要件を満たしていないため田中康夫代表は除外

注1 主な収支項目の内容: ●党費収入—党の規約により定められている会費など ●事務所費—賃借料、通信費など ●組織活動費—大会費、行事・会議費、旅費交通費、渉外費、交際費など ●選挙関係費—選挙宣伝費(ビラ・ポスター等)、選挙対策費(選挙情勢調査委託料等) ●調査研究費—調査費(書籍代、委託調査費等)、研修費(研修会開催費、外部研修参加料等) ●寄付・交付金—他の政党支部・政治団体・議員への寄付

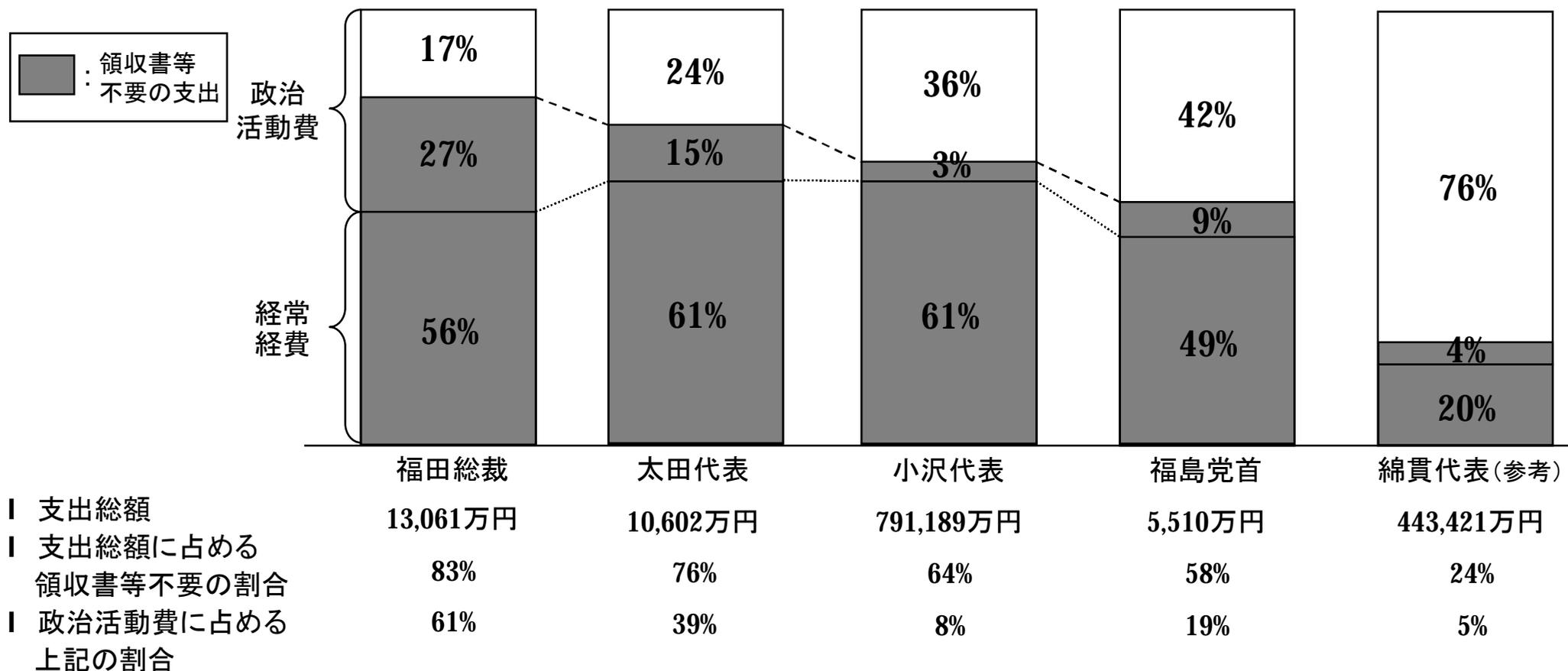
出所: 各党首の政治資金収支報告書(総務省・選挙管理委員会)。なお、各報告書の範囲や在所については、NPO法人「情報公開クリアリングハウス」調べ

主な収支項目の比率

		単位(%)				
		福田総裁	太田代表	小沢代表	福島党首	綿貫代表(参考)
収入	Ⅰ 党費収入	0.3	0.0	0.2	5.0	2.3
	Ⅰ 個人寄付*	9.3	6.3	7.8	43.7	3.9
	Ⅰ 法人寄付	29.4	7.8	24.7	0.0	23.5
	Ⅰ 政治団体寄付	6.4	65.5	5.7	0.0	21.7
	Ⅰ 本部/支部交付金	17.1	12.4	7.1	39.9	2.5
	Ⅰ パーティー等収入	37.2	6.4	48.9	5.5	0.0
		収入源が分散	6割以上が政治団体寄付	パーティー等収入が突出	団体寄付はなし、個人寄付割合が他より突出して高い	
支出	Ⅰ 経常経費	56.2	60.6	60.7	48.5	20.2
	- 人件費	33.9	27.9	4.6	32.1	14.2
	- 事務所費	14.8	26.9	54.6	10.0	4.7
	Ⅰ 組織活動費	12.4	14.6	1.2	8.3	7.5
	Ⅰ 機関紙発行等	6.9	18.2	0.6	16.6	0.3
	Ⅰ 調査研究費	0.2	0.2	0.0	3.6	0.3
	Ⅰ 寄付・交付金	3.3	3.5	3.8	18.0	58.3
			人件費が3割以上	経常経費が6割以上	事務所費比率が突出 また、ここにはない借入金・利息返済額の比率が3割ある	他の議員より、寄付比率が高い

* 議員本人からの寄付は除外している

(参考)政治資金規正法で、領収書等の添付が義務づけられていない支出*
 (「経常経費」全額+「政治活動費」のうち1件当りの支出額が5万円未満)

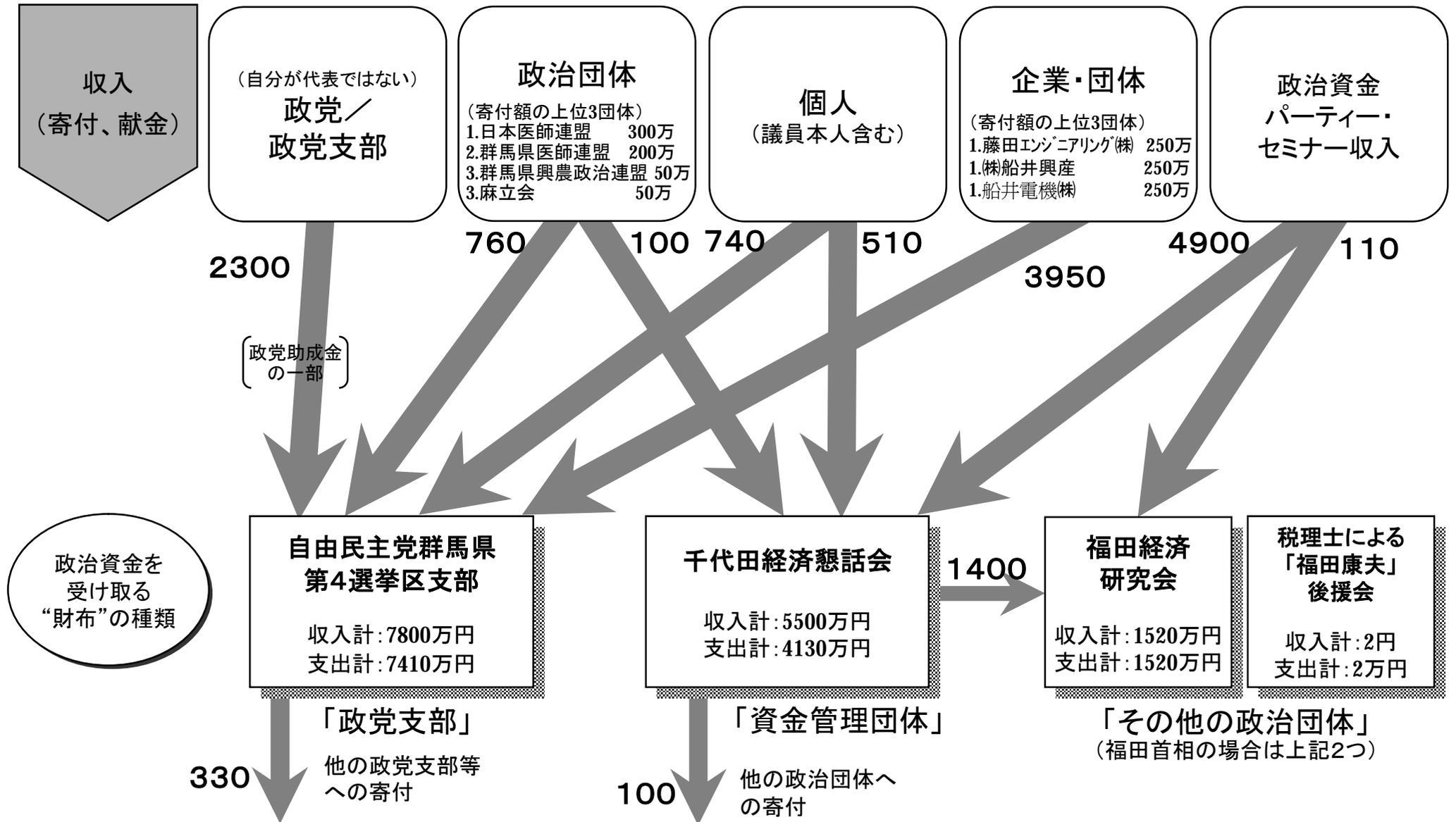


Ⅰ (領収書等の保管の実態は別として)外部監査の仕組みがないなかで、多くの支出について領収書等の添付義務がない現状では、“制度上”でいえば、用途の実質的なチェックができていないも同然

* 本年、法改正により資金管理団体については、人件費以外の1件当り5万円以上の支出については領収書添付が義務化された(上記は法改正前なので反映していない)。- 6 -

政治資金の流れ(平成17年度分・福田康夫首相)

単位(万円)

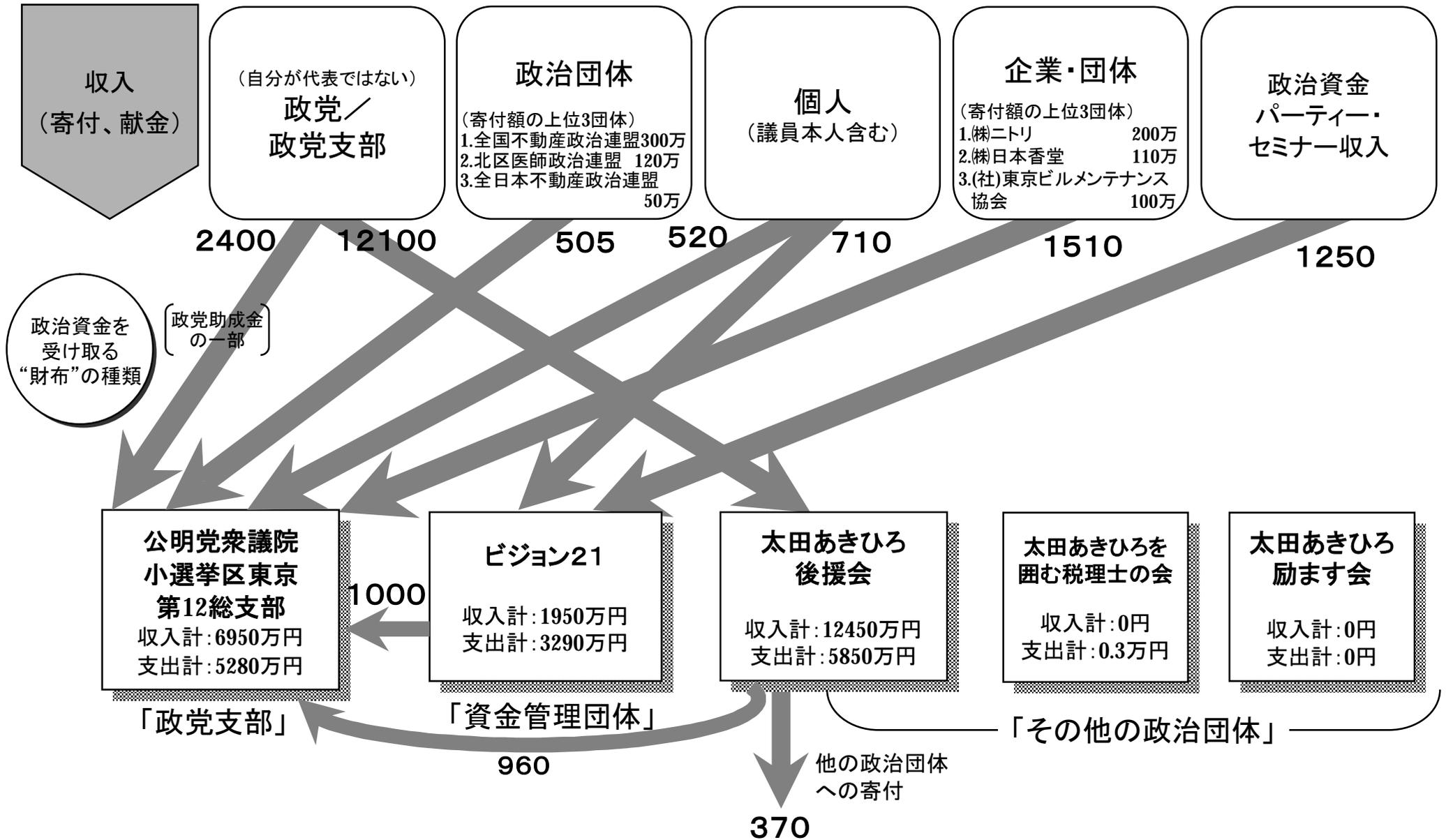


注1:企業・団体は政党支部にしか寄付ができない

注2:寄付する側には、寄付の総額制限と同一団体への寄付額の制限がある

政治資金の流れ(平成17年度分・太田明宏 公明党代表)

単位(万円)

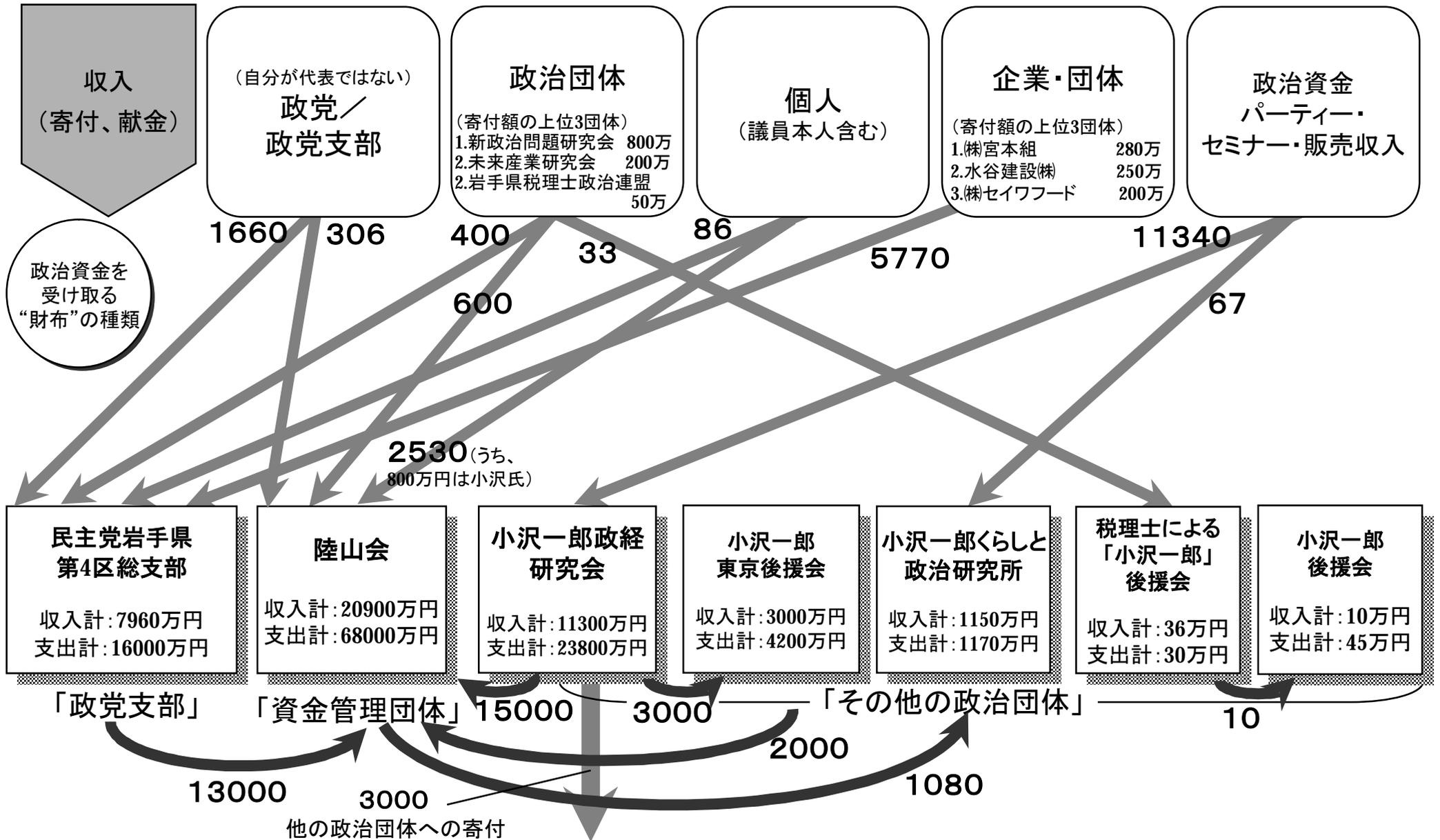


注1:企業・団体は政党支部にしか寄付ができない

注2:寄付する側には、寄付の総額制限と同一団体への寄付額の制限がある

政治資金の流れ(平成17年度分・小沢一郎 民主党代表)

単位(万円)



※小沢代表関連の政治団体はこの他、以下のものがある(いずれも寄付・資金移動ともなし)。

●小沢一郎陸前高田後援会(収入6万円/支出5.7万円) ●小沢一郎後援会石鳥谷支部連合会(同7千円/9.5千円) ●小沢一郎江刺後援会(同0円/8千円) ●この他休眠団体: 小沢一郎花巻後援会、小沢一郎胆沢町後援会、小沢一郎一関後援会

政治資金の流れ(平成17年度分・福島瑞穂 社民党党首)

単位(万円)

